

会員のひろば

題字：森 和恵

◇「りよおたnote」を読んでいたら、共感できる所も多くあり、励まされました。なかなか人の目や社会の目を気にしてしまい、本音を言えないことが多いので、素直に気持ちを表現することとは大切だと思えます。「自分に自信が持てる」と希望がたくさん増えてくる。チカラになってくれる人も現れる。僕を見るときは、現代社会のフィルターを通してみるのではなく、フィルター無しで素直な僕の事を見てほしい」という文が好きでした。

(高崎市 二〇〇 孝絵)

◇『若者のひろば』『りよおたnote』を読んだら、HSPという言葉を知りました。その内容を調べてみると、「生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質をもった人」という意味とのこと、「自分にもそんなところあるなあ」と思い、興味深く読みました。読み進めていくとこんな言葉に出くわしました。「おそらく今の人間の価値はどれだけお金を稼ぐ能力があるかないか(中略)僕はおそらく今の世の中の価値観では評価は低いと思う 自分でも十分にわかっている でも評価

を上げるのにこれ以上自分の命を懸けたくない 自分の感情を押し殺して、ポロポロになりながら希望もなく日々生きるなんて絶対に嫌だ。だからそんな価値観の世界からそろそろ遠ざかろうと思う 僕は僕としてちゃんと生きていきたい」「でも評価を上げるのにこれ以上自分の命を懸けたくない」という率直な、覚悟をもった言葉にハッとしました。そして、「まったくその通りだ」と思いました。覚悟をもった言葉には人を引き付ける力があります。気付くとインターネットで「りよおたnote」と検索し、『りよおたnote』の過去の投稿を全て読んでいました。その中にも素敵な言葉がありました。

『りよおたnote』は素直な言葉で綴られているのがとても印象的です。そんな言葉で綴られているからこそ、りよおたさんの心が開かれていく過程の記述の丁寧さが際立ちます。それを読んでいたら、こちらの心にも爽やかな風が吹き抜けるような心地よさを感じました。素直な言葉には人を元気にさせる力があります。時に力強く、時に素直な、時にユーモアを交えた、時に率直な言葉で綴られた『りよおたnote』。心が疲れているとき、悩んでいるとき、そんなときに力になってくれる言葉がたくさんあります。みなさんも是非ご覧ください。

(高崎市 成瀬 雅俊)

◇子どもたちの生々しい姿によりそった新鮮

な記事にいつも感激させられます。長い間、貴重な学びの時間をありがとございました。2021年度をもちまして退会させていただきましたと思います。私事ですが、緑内障が進行し、読み書きが苦痛になりました。ますますのご発展を祈念申し上げます。

(前橋市 小林 美代子)

◇会員のひろばの森村さんの国語のテストについての話に、そうそう！解釈や要約をせよという出題に対して、出題者の教師が望む答えは何かと考え、でも作者はそんなこと「頼んでねーヨ」と言いたくなるってお話。

森村さんの文章を読んだあとに渡辺さんの「wasbon」の授業を読んだのですが、偶然でしょうが内容が繋がっているように感じました。せつかくの詩をすたすたに分析し、わかりにくいものにしていく「授業。全5回」とのこと、続きが気になります。

そしてすなっぷの「患者自走野球」ですがこれも森村さん、渡辺さんの内容に繋がっているように感じました。監督の指示・指導を受けて動くのではなく、生徒自ら考えて動く。もし私が生徒ならば、国語のテストではないけれど、監督が何を望み求めているのかを考えてしまいそうです。でも、自分の頭で考えられて難しい。小さい頃からそういった訓練ができていないし、周りの意向を気にしてしまおう。

(前橋市 大澤 由佳)